

## 高 3ARE 履修者対象 「立教大学経営学部 統計教育プログラム」

7月4日(火)と24日(月)に、立教大学経営学部の山口和範先生をお招きして、高 3ARE 履修者対象の「立教大学経営学部 統計教育プログラム」を実施しました。

7月4日(火)は高 3ARE の授業内でプログラムを実施しました。「ビッグデータ時代」と呼ばれるこの時代において統計を用いることの役割について講演を伺いました。またその後、各自で家計調査を調べながら、統計の有効性について実践的に学びました。

7月24日(月)は希望者対象のプログラムでしたが、多くの生徒が参加しました。数人ずつのチームに分かれ、統計を用いたプレゼンテーション資料を作成し、プレゼンテーションも行いました。短い準備時間ではありましたが、どのチームも統計を用いたプレゼンテーションを行うことができていました。統計を用いて「納得感」と「共感」が得られるように準備することが重要であることを学びました。

授業後には、ティーチングアシスタントとしてプログラムに参加してくれた、立教大学経営学部に通う本校 OG の 5 名から、論文執筆についてアドバイスを頂きました。8月中旬にドラフト論文の提出を控える生徒達にとって、先輩から直接アドバイスを頂けたことは、大きな励みとなったことでしょう。

プログラムの実施に際しご協力を下さった全ての方々に、心より御礼申し上げます。

